



日本の  
ひなた  
宮崎県

# 中部教育事務所だより「絆」 9月号



令和4年9月16日（金）

## 学校サポートとブラッシュアップサポートを活用した授業改善例を紹介します！

指導主事がマンツーマンで授業改善を支援する「ブラッシュアップ・サポート」が宮崎市の広瀬北小学校で行われ、指導教諭の鬼島英子先生が第5学年算数科「約数」の授業に臨みました。

広瀬北小は、中部教育事務所の「学校サポート」を活用し、6月に実施した学力向上研修会の内容を全職員で確認。日々の授業改善に取り組んでいます。右は学校サポートの際に紹介した授業の展開例を参考に鬼島先生がカスタマイズした本時の授業構想です。

1～12の数を仲間分けしていく導入や、「1,2,3,4,6,12」の数を提示し「約数にはどのような法則があるのだろうか？」という問いにつなげる発問の工夫によって、子どもたちは「謎解き」の世界に導かれるように解決意欲をかき立てられ、次々と約数の規則性や法則性を導いていました。

習熟の時間では、生活場面での約数のイメージ化を図るために教科書の例題を参考に作問に取り組みさせるなど、児童に「わかった！」「できた！」を実感させる工夫が見られました。

個人思考から協働的な学びへと展開し、終末では再び個に戻して本時の学びを振り返る。最後まで意欲が途切れることのない45分間でした。

この日は同僚の先生方も積極的に参観に訪れるなど、校内における授業改善の気運を感じました。鬼島先生、ありがとうございました！

### 【鬼島指導教諭がカスタマイズした本時の授業構想】

**「教科書の内容を変換・加工」した授業の場合**

昨日までは倍数、公倍数を勉強しましたが…それでは、今日の学習のキーワードを伝えます。

1, 2, 3, 4, 6, 12を「12の約数」と言います。この約数には3つの法則があります。それを今日は明らかにしましょう！

約数にはどのような法則があるのだろうか？

**1 2の約数**  
1, 2, 3, 4, 6, 12

※ 児童の様子を見て、必要であれば、倍数やわり算等の視点を与える

**個人思考**をさせる

約数で12をわり切ることができるなあ。

全ての約数の倍数が12になっているようにだけけど・・・

**協働的な学び** 各班での最適解・納得解

①約数はその数を割ることのできる整数  
②その数は約数の倍数になっている  
③約数をかけると12の組み合わせがある

2より 3より

全ての約数 + 12は約数  
の倍数 +  $1 \times 12 = 12$   
 $2 \times 6 = 12$   
 $3 \times 4 = 12$

**各班の考えを全体で協議**  
(共通項+追加項+異なる考え)

全ての班の考えをまとめると…

①その数をわり切ることのできる整数が約数  
②その数は約数の倍数になっている。  
③約数同士「どのような時に約数を活用？」

**習熟の時間による定着と発展**

①15の約数は？ ②13の約数は？

12本の花を同じ数ずつ花びんに入れます。花びんの数が何個のとき、余りがないように入られますか？



- ☞ **【授業改善版－参考例】**は「絆」7月号より添付しており、今号は第3弾として小学校理科を紹介しています。今後も**2～3学期の学習内容を中心に作成**しますので授業改善にぜひご活用ください！
- ☞ ブラッシュアップ・サポートは随時受け付けています。指導主事がマンツーマンで授業改善をサポートします。「もっと授業がうまくなりたい！」というあなた。ぜひ中部にご一報ください！

## 学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的推進が進められています！

教育事務所では、**学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と地域学校協働本部の一体的推進に向けた支援**を進めております。

学校運営協議会が設置されている学校(学校区)では、年度当初から8月にかけて、1回目の協議会が開催されました。

教育事務所からもそれぞれの学校の会に参加させていただきました。



生目中学校区での協議会の様子です。学校の課題や今後の取組についての(熟議)がなされていました。

### ～学校運営協議会に参加して～

各学校の第1回学校運営協議会では、学校経営方針等についての説明と承認、協議等が実施されていました。

協議会委員の方々が、それぞれの立場から子どもたちのことを思って意見や質問等を述べられていました。

**地域や学校の課題についての熟議を行い、課題の共有、役割の明確化を図ることは大事です。**これからも協議会の中で熟議(協議)を取り入れていくをお願いします。

【連携推進アドバイザー：築地原】

□ 学校運営協議会の運営や、地域と学校の連携の在り方等につきましては、教育事務所までご相談ください。  
(連携推進アドバイザー：築地原、社会教育主事：山崎)

問合せ先：中部教育事務所  
(担当：河野)

TEL (0985) 44-3322  
代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

Fax (0985) 44-3330

中部教育事務所は、各学校のマネジメント力を高め、チーム学校としての教育力向上を支援します。